

前尾記念文庫『名語記』の声点

－ 勉誠社刊『名語記』との比較を中心に－

佐藤 栄作

キーワード：『名語記』、声点、アクセントの体系変化

はじめに

佐藤栄作(2021)(以下、前稿)で取り上げた『名語記』について、前尾記念文庫所蔵の紙焼き写真本(現在は宮津市立図書館へ移管、以下、前尾本と呼ぶ)を閲覧し声点を確認する機会を得たので、その結果を報告する¹。

前尾本『名語記』は、『名語記』原本の紙焼き写真を巻(帖)ごとに綴じたものであり、本文・声点等は全巻一筆と認められる。これによって、前稿で問題となった北野克享の勉誠社刊『名語記』(以下、翻刻本文を北野本と呼ぶ)の声点の有無と位置について確認でき、併せて桜井茂治(2000)で分析に用いられた声点の確認も可能となった²。

ただし、すでに小林雄二(2017)が指摘するように、前尾本はモノクロ写真であり、朱点か否かの確認はほぼ不可能であった。声点か虫損かの区別も困難である。よって、本稿では、北野本に差された声点及び桜井(2000)で報告された声点を手掛かりとして、それらが、その印刷・報告どおりに存在するか否かを確認することが主たる作業となった。結果は表にまとめ、後ろに挙げる。

前尾記念文庫『名語記』について

前尾記念文庫は故前尾繁三郎氏の蔵書であり、それを収める資料館として「宮津市立前尾記念文庫」が建設された。宮津市立図書館が2017年に現在のビルに移転すると、前尾記念文庫の蔵書の半数以上が、宮津市立図書館(の「前尾記念文庫コーナー」)に移管され、『名語記』も宮津市立図書館の所管となった。今も前尾記念文庫の一であることに変わりはない。本稿では、小林(2017)と合わせて前尾本『名語記』と呼ぶことにする。

前尾本『名語記』は、勉誠社刊『名語記』に付載された岡田希雄「鎌倉期の語

¹ 11月9～11日と、12月7、8日の2回、宮津市立図書館で閲覧させていただいた。

² 前稿で桜井茂治氏が依拠した『名語記』原本の転写者・その所有者を「山田俊雄氏」としたのは「山田忠雄氏」の誤りです。桜井茂治先生、山田俊雄先生、山田忠雄先生には、たいへんご迷惑をおかけしました。謹んでお詫び申し上げます。

源辞書名語記十帖に就いて」に掲げられた3葉の『名語記』原本の写真と同一本であり³、小林雄二(2017)の報告の通り、『名語記』原本の紙焼き写真である。本文は全巻一筆である(施点者も同一人物と思われる)。使用されているカタカナは、まさに13世紀の字体・字形の特徴を有していると認められ、巻6までは1268年には書かれ、1275年に北条実時に献上されたという歴史上の事実と齟齬しない。本稿筆者の印象としては、いくつかのカタカナの字形や「タル」「タレ」「タ」が斜めに長く、「ル」「レ」が「名」の「口」の位置に書かれるなどの書きぶりその他から、大福光寺本『方丈記』が想起された(こちらは、1244年以前の書写とされる)。「シ」「ツ」の形状から見れば、佐藤栄作(2019)で取り上げた観智院本『類聚名義抄』の二人の書写者よりも古い(年長者である)ように見える⁴。

前尾本は、原本の巻(帖)ごとに紙焼き写真を和綴じにしており、巻2から巻10までの9冊となっている。写真の重複が数カ所あるほか、残念ながら巻6の57丁裏・58丁表(写真1葉分)が落ちている(小林(2017)の言及の通り)。北野本にない巻7が存在する点は特筆される。

ただ、前尾本はモノクロ写真のため、朱点か墨点かの区別は困難であり、朱の残存によって朱点があったことを知るということはまったく期待できない。声点か虫損かの区別も難しい箇所も多い。今回、宮津市教育委員会・宮津市立図書館のご高配によって和綴じの紙焼き写真本そのものを拝見させていただき、その後、声点の確認作業は、その紙焼き写真本(前尾本)のコピーによって行った(宮津市立図書館で作成したコピー)。モノクロ写真のさらにコピーで、全体に黒いが、紙焼き写真の現物によったとしても、声点の見極めの困難さはさほど変わらないと思われる。

つまり、前尾本は13世紀に書写された『名語記』原本の写真に間違いないと確認できたが、声点に関しては、その認定は難しい。北野本あるいは桜井(2000)の依拠した山田忠雄氏の転写に見落としがないかと、この紙焼き写真本を目を凝らして見ても、それは極めて困難と言うほかない。よって、今回の作業は、北野本の声点の確認、桜井(2000)の声点の確認が主たるものとならざるを得なかった。しかし、前稿で指摘したとおり、北野本と桜井(2000)とでは、声点にかなり大きな相違があり、そのどちらが原本に一致するのかの見極めという点では、重大な確認作業となった。桜井(2000)によれば、桜井氏の分析した声点は、原本を転写した山田氏に間違いがないか確認いただいたとあるが、山田氏の確認も、

³ 写真のことではない。写真そのものの違いについては判断できなかった。

⁴ 平べったい「ツ」の平声点は、第1画のすぐ下に差されているため、現在の「ツ」の活字を用いた北野本ではかなり上の方に見える(上声点の位置に印刷している例もある)。カタカナについては、前尾本が公開されれば、分析が進むはずであり、公開が待たれる。

自ら転写したものと突き合わせる作業だったはずで、原本で確認したとは考えにくい。一方、北野本には、カタカナの認定に誤りがあるなど、転写の信頼を損ないかねない部分を有するが、桜井(2000)との不一致の多さから、その全てが北野本のミスとは考えにくいと前稿で述べた。この点が今回の確認作業によって、ほぼ明らかにできることになった。

北野本と桜井(2000)との声点の相違について

前稿で触れたとおり、桜井(2000)は、『名語記』の声点として1～216の番号を振っているが、これは声点の差された箇所の数ではない。前稿では、北野本にあって桜井(2000)にはないものも含めて、施点箇所(施点された語句)を272とした。その上で、北野本が欠く巻7にある11を除いた261について、桜井(2000)と北野本とを比較し、内訳を挙げた。

	前稿	後述する本稿
・ 桜井(2000), 北野本、両方に声点のあるもの…201	→	204
一致するもの…………… 165	→	168
一致しないもの…………… 36	→	36
・ 桜井(2000)にあって、北野本にない声点……………30	→	34
・ 桜井(2000)になく、北野本にある声点……………30	→	49

今回の確認に際して、改めて北野本を見直したところ、一部見落としに気づき、前稿に7箇所を追加した。7箇所のうち和訓の声点の見落としは3箇所(「ハス」「テク」「ス、ク」)であり、他は、「車ノワヨリ」、「夷人」、「豊」の字音2種である。いずれも、後掲の表で確認いただきたい。また、前稿で一項目にまとめたものを今回はばらしたため、声点の差された箇所数は26箇所増加し、全体で施点箇所は298(便宜上、298例と表す、以下同様)、北野本が欠く巻7の11例を除くと、北野本と桜井(2000)とを比較できる施点箇所は287例となった。

施点箇所	298	(一部、声点とは認定しづらいものも含む)
巻2	13	
巻3	16	
巻4	88	
巻5	59	
巻6	71	
巻7	11	北野本なし
巻8	31	
巻9	7	

巻 10 2

以下の報告の前にいくつか断っておきたい。

まず、北野本は声点が印刷されているのであって、それを上声点、平声点、中の点(上と平との中間あたり)と認定したのは本稿筆者である。一方、桜井(2000)は声点の差された語句を取り上げ、アクセントを分析したものであり、桜井氏が(そして山田忠雄氏が)声点と認定しなかったものは、たとえ原本に「点」が差されていても、分析の対象とはなっていないはずである(例えば、訂正や削除のための「点」があればそのようなもの)。しかし本稿では、声点の可能性が少しでもあれば取り上げている。桜井(2000)と本稿の報告との相違にはそうしたものが含まれている。

この 298 例(仮名反に用いられた複合語のようなもの・語連続を一つにするか二つに分けるかなど数え方によって数はさらに動く)のうち、北野本と桜井(2000)とで声点が一致するのは 168 例(前稿では 165 例と報告した)だった。これらは、異なる人物が独立に調査した結果であり、原本(桜井(2000)は山田氏の転写ではあるが)から抽出したものであるから、今回、本稿筆者が確認するまでもなく信憑性の高い声点であると言える。今回の閲覧においても、ほぼその通りであると確認できた。

ただし、168 例のうち 20 例は、今回の閲覧ではっきりと確認できたとは言い難く、モノクロ写真(のコピー)の限界を感じた。また、次の 2 項目は本稿筆者には上・平の 2 点が差されているように見えた。

	桜井	北野	佐藤
・ 8 - 102 表 6 ⁵ ユカム(歪む)	上上濁平	上上濁平	上/平上濁平
・ 8 - 149 裏 3 スサラ(不同)	平濁平濁平	平濁平濁平	平濁平濁上/平

これらもおそらく北野本・桜井(2000)の認定で間違いないのだろう。168 例のうち、20 例がはっきりと確認できず、2 例には別の声点も差されているように見える—これが今回の確認の「精度」を示している。以下に、北野本が欠く巻 7、そして北野本と桜井(2000)とで異なる項目を見ていくことになるが、この程度の「精度」であることを先に断っておきたい。

北野本にない巻 7 について、桜井(2000)は 11 例の声点を報告している。巻 7 は虫損の多い部分があり、色のないモノクロ写真(のコピー)では、点のようなものが見える箇所はかなり多い。今回の閲覧の中で、本稿筆者はいくつか声点候

⁵ 「巻 8 の 102 丁表 6 行目」を本稿ではこう記す。以下、同様。

補を書き留めたが、桜井(2000)の見落としであるとして主張できるようなものではない。本稿では、11例に加えることは控える。さらにその11例についても、しっかりそれと確認できたものは4例にとどまり、6例ははっきりせず、次の1例は異なるように見えた。

	桜井	佐藤
・ 7 - 7 表 8	イカム (哇)	上?平?○
	平上濁上	

前尾本は原本の写真であるから、全てが一級資料であり、殊に北野本が欠く巻7を確認できることは、閲覧の最大の収穫であるが、声点については、虫損も多く、巻7は最も見にくい巻(帖)であり、極めて残念な結果となった。

次に今回の確認作業の中核と言える北野本と桜井(2000)とで声点が相違する119例について報告したい。

前稿では、桜井(2000)と北野本とで差された声点の異なるものを36、片方にしか声点のないものをそれぞれ30としたが、先に触れたように、北野本の声点で落としていた7例(声点かどうか未確定のものを含む)を追加し、また同一語であっても施点箇所・施点状況が異なるために分解したものがあるので、例数が前稿より増えている。前稿では、同一の問答文(以下、「一問答文」を先行文献にならって「条」で呼ぶ)内で複数施点されていても、同じ施点と認められるなら一つに括っていた。

両方に声点ありで異なる	36 例
北野本のみにより	49 例 (声点か疑問も含む)
桜井 2000 のみにより	34 例

この片方にのみ声点の差された例には、同一条(問答文)の中で、同一語(同じカナ文字列)が複数存在し、その施点箇所が異なった場合が含まれる。前稿では一つと数えたが、本稿では分けたため、施点箇所が異なれば、「片方にのみ差された2例」と扱われることになる。ずいぶん大きな相違のように見えるが、単なる記入ミス(北野本、桜井(2000)の写し違い)である場合も含まれるだろう。

前稿では、ある語についてどのような声点が差されたかに重点を置いていたが、本稿では、施点箇所のズレも、施点の違いとし、声点の有無や声点の違いと合わせて確認していった。つまり、北野本と桜井(2000)のどちらが原本の状況に近いかという視点で見たかったのである。その結果、119例の内訳は以下の通りとなった。(後ろの「?」「k○」などは別表「評価」欄の記号)

		表の記号
北野、桜井どちらが原本の状況か判断できなかった	11 例	?
桜井声点なし(認定せず)で、北野と佐藤とが異なる	4 例	

北野声点なしで、桜井と佐藤とが異なる	2 例	
北野と桜井とが異なり、佐藤がさらに異なる	2 例	
北野と桜井とが異なり、佐藤ははっきりできず	3 例	
どちらかといえば北野本が原本の状況を反映	57 例	
うち 佐藤と一致	41 例	k ○
佐藤ではっきりせず	13 例	k △
佐藤と不一致	2 例 ⁶	k ?
どちらかといえば桜井(2000)が原本の状況を反映	51 例	
うち 佐藤と一致	43 例	s ○
佐藤ではっきりせず	8 例	s △

すでに触れたように、今回の確認では正確に判定することは困難である。しかし、明らかな声点の有無、声点の認定の違いは指摘できる。ただし、繰り返すが、北野本の場合、カタカナを現在の字形にした上で点を差しており、それを認定したのは本稿筆者である。また、北野本も桜井(2000)も、刊行の過程での誤植が全くなかったとは言えない。そして、本稿での確認は朱が見えないため、朱点の痕跡は全く見えず、虫損を声点と誤認する可能性がある。そういうことを前提としての報告である。

報告の全体は、後掲の表で確認していただくものとして、ここでは、今挙げた分類に関わることにについて少し述べる。北野本と桜井(2000)とで声点について異なっているものについて、どちらがより原本に近いかということと言うならば、ほぼ五分五分であった。それが端的に表れている例を挙げておく。

先に言及したように、一つ条の中で、同じ語(カタカナ文字列)が複数存在し、施点箇所を取り違えたと予想したものがいくつか存在した。そのうちの、巻4の86丁裏「ネツ(拗づ)」、巻5の82丁裏「コフ(瘤)」、巻6の5丁裏「アサ(痣)」の3箇所は北野本の誤写あるいは誤植、巻4の57丁裏「タキ(丈・長)」、巻6の64丁表「シタ(羊歯)」の2箇所は桜井(2000)の誤写・誤植(山田氏の転写段階のものかどうかは不明)と判明した。これらは、声点の有無で、紙焼き写真のコピーでもどちらが正しいか判定できた。

佐藤(2021)との関係について

前稿は、前尾本の確認前であったために、北野本と桜井(2000)とで相違があっても、両方の施点例を最小公倍数的に合わせて『名語記』の声点とし、それを対象として少し分析も行った。例えば、前稿で「朝明」を取り上げたが、前稿を修

⁶ 同語の声点状況や、桜井(2000)も加味して、こう分類した。

正する必要のないことが確認できた。前稿で、『名語記』と『色葉字類抄』の声点を比較し、16語を挙げた。そのうち、今回の確認で修正できるのは、「カチ」である。

前稿（修正前）

語	（当て漢字）	『名語記』	『色葉字類抄』	一致・不一致
カチ	（徒歩）	上上	平上	×桜井上上濁

前稿で『名語記』の「上上」としたのが、そもそも「平上（北野）」とすべきミスで、桜井(2000)の「上上濁」は削除できるから、以下の通りとなる。

修正後

語	（当て漢字）	『名語記』	『色葉字類抄』	一致・不一致
カチ	（徒歩）	平上	平上	○

それ以外では、以下の例は確認できたので、（北野）（桜井）という注記は削除できる。ただし、前尾本の確認によつての変更ではないが、本稿では、「アハク」「アハツ」の語認定を「？」としたので、「一致・不一致」も「？」にすべきかと思われる。

前稿（修正前）

語	（当て漢字）	『名語記』	『色葉字類抄』	一致・不一致
カチ	（褐衣）	平平（北野）	平平	○
コシ	（巾子）	平上濁（桜井）	平上濁	○
ワク	（曲）	上平濁（北野）	上平濁平上	○色葉ワケ列
アハク	（発）	平平濁上（北野）	平平濁上	○
アハツ	（澆）	上上平濁（桜井）	上平平濁	○

前稿は、以下のように修正したい。

修正後

語	（当て漢字）	『名語記』	『色葉字類抄』	一致・不一致
カチ	（褐衣）	平平	平平	○
コシ	（巾子）	平上濁	平上濁	○
ワク	（曲）	上平濁	上平濁平上	○色葉ワケ列
アハク	（発？）	平平濁上	平平濁上	○？
アハツ	（澆？）	上上平濁	上平平濁	○？

前稿で取り上げなかったが、桜井(2000)で分析されている声点のうち、今回の

確認で存在が認められなかった（認めづらかった）例として以下が存在する⁷。
さらに慎重な確認が必要ではあるが、注意すべきものである。ただし修正すべきは「クコ」くらいで、他は、同語の施点例が別にあって問題とならなかったり、むしろ原本の方に問題がありそうな例である。

桜井(2000) 『名語記』

- ・ 2 - 45 表 1 ケニ (異?) 平上 → 平濁○
原本は双点が付されているが、「異」ならば単点が期待される。
- ・ 5 - 3 表 6 ムヘ (郁子) 平上濁 → 平平濁
直前の同語「ウヘ」(郁子) は「平平濁」で、桜井(2000)にもあり。
- ・ 5 - 28 裏 5 クツ (擬音) 上濁平 → 上濁上
原本は「ツ」に上声点と見えるが、原本の施点ミスかもしれない。
- ・ 5 - 31 裏 1 クコ (枸杞) 上上濁 → 上上
前稿でも「枸杞」として挙げた。桜井は語認定も異なる。
- ・ 6 - 93 表 2 セハ (切羽) 平上濁 → 平上
第2拍濁音でも不思議はない。アクセント資料としては問題ない。
- ・ 8 - 66 表 4 アハヒ (鮑) ○上濁上 → ○上上濁○○ (アハヒ貝)
直後に「アハヒ」(鮑)「上平平濁」あり。桜井(2000)にもあり。

桜井(2000)にないが、『名語記』の和語の声点として認定できそうなものとしては、以下が挙げられる。語が確定しづらいものは原則として除いた。

	桜井(2000)	『名語記』	体系前ア資料 ⁸
・ 3 - 27 裏 8 トフ (擬音)	—	平上濁	
・ 4 - 50 表 8 タハ (撓)	—	上上	
・ 4 - 57 表 5 タテ (蓼)	—	上上濁	○和、医、名
・ 4 - 74 裏 1 ツ (出)	—	上濁	○名
・ 5 - 17 表 1 ノキ (芒)	—	上上濁	○和、名、字
・ 5 - 31 表 3 クフ (焼ぶ)	—	上○	○解脱
・ 5 - 64 裏 4 フリ\／ (擬音)	—	上濁平○○	
・ 5 - 82 裏 3 コフ (瘤)	上平濁	平上濁	
・ 5 - 84 裏 11 カム、へ (噛む宜?)	—	平上上上濁	噛む○色葉他
・ 5 - 86 裏 3 コヒ (媚び)	—	上上濁	○名、俱舎
・ 6 - 62 裏 2 シカ (擬態)	上平	平濁上	

⁷ 桜井(2000)の分析で取り上げていない例は除いた。

⁸ 秋永他編(1997)『日本語アクセント史総合資料索引篇』による。合致すれば○とした。

- ・ 8 - 102 表 5 ユカシ (ゆかし) ー 上/平平上
- ・ 5 - 86 裏 3 コヒタリ (媚びたり) ー 上平濁○○⁹ 媚ぶ色葉○

以上、数は多くないが、推定される京都アクセントとの齟齬は小さいと言えよう。前稿で特に取り上げた『色葉字類抄』など、いわゆるアクセントの体系変化前の資料と合致する例もある。ただし、体系変化によって変化した類の確例がないため、体系変化前の資料であることの根拠が増えたとも言いづらい。

現段階でのアクセント資料としての『名語記』

以上から、以下のことが言える。

まず、今回確認できた施点例は、『名語記』の声点資料として、アクセント研究に用いることができる。すなわち、桜井(2000)が声点分析の対象とした項目の精度を若干高め、一部補充できる。

桜井(2000)に即して言うなら、以下の通りとなる。

- ・慎重を期さねばならないが、桜井(2000)の認定・報告する声点が原本と異なるものについては、アクセント分析から外すべきであること。

- ・同様に、今回の確認によって桜井(2000)にない語で、追加できるものについては、それを加えて分析することができること。

以上に関して、検討は十分とは言えないが、桜井(2000)の研究成果の大枠を大きく変更しなければならないとは思われない。つまり、

- ・今回の確認によって、『名語記』がアクセントの体系変化前の資料であるよりもはつきりと主張できるようになったわけではないが、アクセント体系変化後の要素も出てきていない。

アクセント資料としての『名語記』は、古辞書に収載されないような語、例えば、擬態語・擬音語などに声点が差されていることに特色がある。口頭語・俗語に声点が差されたことそれ自体が注目に値する。それ以前の文献に見える歌語や雅語・古語なら、むしろ声点ごと転写することが可能であるが、前例のなさそうな語にまで声点を施せたとするなら、『名語記』の施点者(著者)は、語アクセントが捉えられ、アクセント型が区別でき、アクセント表示法を会得していたことになる。施点者(著者)＝経尊は、声点をどこでどのように習得したのか。そして、それを理解していたにも関わらず、ほとんどを濁音表示として用いているのはなぜか。声点を用いて、もっと同音語(同仮名文字列語)の区別を示すことができたのではないのか。前稿でも述べた通り、原本の紙焼き写真本の発見に

⁹ 北野本「上平濁○○」、佐藤「上平○○」だが、ここでは「上平濁○○」とした。

よって、鎌倉期の声点資料としての『名語記』の価値は格段に高まったといえる。

そして興味関心の矛先は、当然、『名語記』そのものがどのように成立したのかに向けられることになる。小林(2017)のその後の研究進展が待たれる。山田忠雄(1981)は「同時代書 塵袋 との対比の上で言うならば、彼の文献主義・文章語中心、此の実用語尊重・口頭語中心」という性格の相違は極めて顕著である」と指摘する。そのことと、小林(2017)の指摘する『色葉字類抄』、歌学書『色葉和難集』との強い関わりはどう説明できるのか。『名語記』の著者経尊が花山院家の出身であることを明らかにした佐古愛己(2005)は、耕雲明義＝長親との繋がりが確定的になったと述べる。そうすると、悉曇学・反切だけでなく、いろは順の『仙源抄』・長慶天皇につながっていく。経尊は一躍、日本語学史、アクセント史にとってのキーパーソンとなる。

今は何より前尾本『名語記』の公開を切に望む。今回の本稿筆者の声点についての報告は、本稿筆者の判定・判断であり、現物が公開されないうちは、結局、北野本、桜井(2000)から推定される声点の他に、新たにもう一本『名語記』(声点本)を作り出してしまったようなものである。広く、研究者の誰もが見られるようになれば、見えづらさそのものを共有でき、声点の認定についても精度が上がるだろう。そしてそれに続く研究の大きな進展が期待できる。

参考文献

- 秋永一枝他編(1997)『日本語アクセント史総合資料索引篇』東京堂出版
- 漆崎正人(1993)「『名語記』における欠帖巻一の内容をめぐって」『藤女子大学国文学雑誌』50
- 岡田希雄(1935)「鎌倉期の語源辞書名語記十帖に就いて」(上・中・下)『国語・国文』5-11~13(田山方南校閲・北野克写(1983)『名語記』によった)
- 小林雄一(2014)「『名語記』と『色葉字類抄』」『国語国文』83-6(小林雄一(2017)所収)
- 小林雄一(2015)「『名語記』と『色葉字類抄』続考」『国語国文』84-4(小林雄一(2017)所収)
- 小林雄一(2017)「『名語記』の研究」(博士論文、京都大学)
- 小林芳規(1994)「名語記の口頭語について」『鎌倉時代語研究』17
- 桜井茂治(2000)『日本語の音・考—歴史とその周辺—』第I部四「『名語記』声点考」おうふう
- 佐古愛己(2005)「平安末期～鎌倉中期における花山院家の周辺—『名語記』著者経尊の出自をめぐって—」『立命館文学』589(佐古愛己(2012)に再録)
- 佐古愛己(2012)『平安貴族社会の秩序と昇進』思文閣出版

佐藤栄作(2019)「観智院本『類聚名義抄』における施点の帖による違い―施点例
が多く、多くの帖に存在する和訓を例に―」『論集XIV』アクセント史資料研究会
佐藤栄作(2021)「アクセント資料としての『名語記』再検討―新たな『名語記』
研究へ」『論集XVI』アクセント史資料研究会
田山方南校閲・北野克写(1983)『名語記』勉誠社
山田忠雄(1981)「余説 第二章 日本国語大辞典 [名語記の場合]」『近代国語
辞書の歩み―その模倣と総意と―』三省堂

『日本国語大辞典 第2版』小学館(2000～2002)

本稿は、科学研究費補助金基盤C「アクセント体系変化後の文献を中心とした日本語アクセント史研究の総括と展開」(研究代表者坂本清恵・日本女子大学)による研究成果の一部である。

謝辞 コロナ禍の中、貴重な資料の閲覧を許可くださった宮津市教育委員会様、
特に手続きでお世話になった社会教育課の東高志様、鶴岡衛大様、また閲覧の
際に格別にご配慮くださった宮津市立図書館の皆様に、心より感謝申し上げます。

―愛媛大学教育学部―

『名語記』の声点 北野本(佐藤認定)と桜井(2000)と前尾記念文庫本(佐藤確認)

凡例

- 語句認定 桜井(2000)を参考に佐藤が認定(桜井を一部変更)。認定できない場合、疑問の場合「？」とした。
助詞・助動詞の類は語形を記入し、接辞は「接頭」「接尾」、擬音語・擬態語は「擬音」「擬態」とした。
- 桜井番号 桜井(2000)「声点資料一覧」での番号
- 桜井(2000)声点 「一」は桜井(2000)「声点資料一覧」にないもの。「○○」等は、当該箇所はあるが声点のないもの。
佐藤確認 「？」は北野本、桜井(2000)から声点の存在が期待されるが見えないもの。
「上?」「上濁?」などの「?」は、はっきりと確認しづらいもの。「虫」は虫損と判断したもの。
「中」は、施点対象のカナの左中程に点が位置すると判断したもの(北野本も同じ)
- 備考 「北野」は北野本、「桜井」は桜井(2000)、「前稿」は佐藤(2020)。「佐藤」は佐藤の確認。
「日国」は小学館『日本国語大辞典第2版』
括弧のカタカナ(漢字カタカナ)は『名語記』の本文。ただし、文字は現在の字体・字形になっている。
原本の小書きも同じ大きさにし、右寄せも示さず、一字空けも詰めている。
「○○の語源」とあるのは、○○の仮名反で用いられた語連続。
- 評価 「◎」は桜井(2000)、北野本、佐藤確認で一致したもの。「○」は桜井(2000)と北野本が一致したもの。
「s○」は桜井(2000)と佐藤が一致、「k○」は北野本と佐藤が一致。「s△、s?、k△、k?、?」は本文参照のこと。
「s○、s△、s?」は桜井(2000)が、「k○、k△、k?」は北野本が、原本の状況(に近い)と判断したもの。

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井番号	桜井(2000)声点	佐藤確認	北野本声点	備考	評価	拍数	品詞
2	21	ウ	7	車ノワヨリ	(輪)		一	中中???	中中中中中	声点か 北野大きい星点 佐藤?は薄くて見えない、あるなら朱か	?	?	?
2	31	オ	3	ツ	接頭?	1	平濁	平濁	平濁	「ツハシタナシ」	◎	1	接頭?
2	31	オ	3	ツ	接頭?	1	平濁	平濁	○	「ツハシタナシトイヘルツ」	s○	1	接頭?
2	45	オ	1	ケニ	異?	2	平上	平濁○	平濁○	「アリシヨリケニ」	k○	1	名?
2	45	オ	1	ケ	異?		一	平濁	平濁	「アリシヨリケニトイヘルケ」	k○	1	名?
2	49	オ	4	コ	糊	3	上濁	上濁	上濁	「紙ツクラコナツク」	◎	1	名
2	49	オ	4	コ	糊		一	上濁	上濁	「コハ糊」	k○	1	名
2	50	オ	3	コ	期	4	平濁	平濁	平濁	「ソノコトハ期ノ字也」	◎	1	名
2	52	オ	10	ミテ	見で	5	上平濁	上平濁	上平濁	助詞「で」	◎	1	動
2	52	オ	10	テ	で	5	平濁	平濁	平濁	助詞「で」「キカテ」	◎	1	助
2	55	ウ	2	カキ	?		一	○	上平濁	北野過剰(ない方にも点)	s○	2	?
2	55	ウ	3	カキ	?	6	上平濁	上平濁	上平濁	「葱」の語源「カキヲ反セハキ也」	◎	2	?
2	55	ウ	4	カキ	嗅ぎ	7	上平濁	上平濁	上平濁	「カキ」は「葱」の語源	◎	2	?

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井 番号	桜井(2000)声 点	佐藤確認	北野本声点	備考	評価	拍 数	品詞
3	8	ウ	8	ハヤナリ	?	8	上平〇〇	上平〇〇	上平〇〇	「人ノイサカヒコノミ悪事スルヲハヤナリ」 桜井「速」	◎	2	名?
3	8	ウ	10	ハヤ	ばや	9	平上	虫虫	平濁〇	助詞「ばや」「ミハヤキカハヤ」 佐藤虫で見えない	?	2	助
3	11	ウ	5	ハシ	櫓	10	上平濁	上平濁	上平濁		◎	2	名
3	11	ウ	7	ハシ	ばし	11	上濁平	上濁平	上濁平	助詞「ばし」「コレハシソレハシ」	◎	2	助
3	15	オ	1	ハス	?		一	上平濁	上平濁	「人ノ心地損シテ物ツクラハス」	k〇	2	動
3	22	ウ	4	トロ	泥	12	平濁平	平濁平	平濁平		◎	2	名
3	22	ウ	9	トロ	不勝負	13	平濁上	平濁上	平濁上	「勝負ノコトニ持ヲトロ」	◎	2	名
3	23	オ	1	トハ	外場	14	上濁平	上平濁	上平濁	「トハウチハ」	k〇	2	名
3	23	ウ	9	トチ	人名	15	平上濁	平上濁	平上濁	「人ノ名ニトチトイヘル」	◎	2	名
3	25	ウ	4	トレ	どれ	16	上濁上	上濁上	上濁上		◎	2	名
3	25	ウ	5	トレ	どれ		一	上濁上	上濁上		k〇	2	名
3	25	ウ	8	トレ	接尾?	17	上濁上	上濁上	〇〇	「春ノソラニサクラトレトイヘルトレ」	s〇	2	接尾?
3	27	ウ	8	トフ	擬音		一	平上濁	平上濁	「水ニオチイルヲト」	k〇	2	擬音
3	30	オ	5	トシ	屠児	18	上上濁	上上濁	上上濁	「官家ニトシトイヘルツカヘ人アリ」	◎	2	名
3	31	オ	1	トモ	ども	19	平濁上	平濁上	平濁上	「サレトモシカレトモナトイヘルトモ」	◎	2	助
3	31	ウ	3	チイ	擬音	20	平濁上	平濁上	〇〇		s〇	2	擬音
4	5	ウ	4	ワク	曲ぐ		一	上平濁	上平濁	「縄ヤ箭ヲワクトイヘル」	k〇	2	動
4	5	ウ	4	ワナカス	?		一	〇〇上濁平	〇〇上濁平	動詞「わぐ」の語源	k〇	2	?
4	5	ウ	5	ワク	簾(道具)		一	平虫	平平	「糸ヲクルモノ」	k△	2	名
4	6	ウ	4	ワサ	早生	21	平上濁	平上濁	平上濁	「ハヤクイテクル物」	◎	2	名
4	8	ウ	11	カイ\	擬音	22	上濁平〇〇	上濁平〇〇	上濁平〇〇	「赤子ノナク音」	◎	4	擬音
4	9	ウ	7	カハ	皮?	23	上上濁	上上濁	上上濁	「桜のカハヲハキテ・・・カハ装束」	◎	2	名
4	9	ウ	8	カハ	皮?	24	上上濁	虫平濁	平平濁	佐藤虫、上声点の位置にはない	k△	2	名
4	10	オ	4	カハ	かば	25	平上濁	平上濁	平平濁	助詞「アラマシカハ」 北野墨点	s〇	2	助
4	10	オ	4	カハ	かば	25	平上濁	平上濁	平上濁	助詞「シラマシカハナトイヘルカハ」	◎	2	助
4	10	オ	5	カナフカ	哉深?	25	平濁上平上	平濁上平上	平濁上平平	カハの語源	s〇	4	?
4	10	オ	6	カハ	かば	26	平上濁	平上濁	平上濁	助詞「ミシカハキハシカハ」	◎	2	助
4	10	オ	8	カハ	擬音	27	平濁上	平濁上	平濁上	「モノハヤフルヲト」	◎	2	擬音
4	11	オ	2	カヘ	壁	28	上上濁	上上濁	上上濁		◎	2	名
4	11	オ	6	カヘ	?	29	上平濁	上上濁	上上濁	「夢ニモカヘニモトイヘルカヘ」	k〇	2	名

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井 番号	桜井(2000)声 点	佐藤確認	北野本声点	備考	評 価	拍 数	品詞
4	11	オ	10	カヘ	交ヘ	30	上濁上濁	上濁上	上濁上	「虫喰あり一点不明」桜井「衣装ノツ マノウハカヘシタカヘトイヘルカヘ」	k○	2	名?
4	11	ウ	7	カト	角	31	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
4	11	ウ	8	カト	角	31	平上濁	平上濁	平上濁	「関ノイハカトナトモイヘルカト」	◎	2	名
4	11	ウ	11	カチ	舵	32	上平濁	上平濁	上平濁		◎	2	名
4	12	オ	6	カチ	徒歩	33	上上濁	平上	平上	「アリクヲハカチ」	k○	2	名
4	12	オ	7	クカタチ	陸立	34	上上濁上濁上	上上濁上濁上	上上濁上濁平	「カチ」の語源「クカタチノ反」	s○	4	名
4	12	オ	9	カチ	鍛冶	35	上上濁	上上濁	○○		s○	2	名
4	12	ウ	6	カチ	褐衣		一	平平	平平		k○	2	名
4	13	オ	3	ミカチ	身勝ち	36	上上濁平	上上濁平	上上濁平	「ミカチ得分カチナトイヘルカチ」	◎	3	名
4	13	オ	3	カチ	勝ち	36	上濁上	上濁上	上濁上	「ミカチ得分カチナトイヘルカチ」	◎	2	接尾
4	14	ウ	2	モトカシキ	擬かしき	37	○平濁○○○	○平濁?○○○	○平濁○○○	「カヌ」の説明の中で	○	4	形容
4	15	オ	5	カル	がる	38	上濁平	上濁平	上濁平	接尾辞「ウルサカル」	◎	2	接尾
4	15	オ	5	カル	がる	38	上濁平	上濁?平?	上上濁(ママ)	接尾辞「ムツカシカル」北野「マヘ」 と注記 佐藤上濁?は単点に見える	s△	2	接尾
4	15	オ	9	カナラル	?	39	平濁上○○	平濁?○○	平濁上○○	「カル」の語源 桜井「カナナル」	○	2	?
4	16	ウ	4	キハトヤ	際?		一	平平○上?	平平○中	「カタ」の語源	k△	4	?
4	16	ウ	11	カタ	怠惰	40	上平濁	上?平濁	上平濁	「如在ナル物」佐藤上?見えづらい	○	2	名
4	16	ウ	11	カタ	怠惰		一	○?	○平濁	「カタナリトイヘルカタ」	?	2	名
4	19	オ	11	カナヘレ	?	41	○○○上濁	○○○上	○○○○	「カネ」の語源「墨点なり」桜井 桜 井「カナハシ」とし「ナシ」で採る	?	4	?
4	20	オ	1	カナ	がな	42	平濁上	平濁上	平濁上	助詞	◎	2	助
4	20	オ	1	カナ	がな	42	平上	平濁上	平濁上	助詞 桜井、濁脱字か	k○	2	助
4	21	オ	1	カラクル	?	43	平濁平○○	平濁平○○	平濁平○○	北野「カタクル」佐藤ラ?タ?	◎	2	?
4	21	オ	2	カラ	?	43	平濁平	平濁平	平濁平	「カラカマシトイヘルカラ」	◎	2	?
4	27	オ	6	カケ	崖?	44	平平濁	平平?	平平	佐藤平?は横長いが点1つか	?	2	名
4	32	ウ	2	カシ	加時		一	上上濁	上上濁	日蝕、月蝕の「蝕シキハマレル時」	k○	2	名
4	42	ウ	8	ヨク	避く	45	平上濁	平上濁	平濁上濁	北野はヨに双点	s○	2	動
4	47	ウ	2	タハ	撓	46	上上	上上	上平濁	「髪ニツクタハ」	s○	2	名
4	47	ウ	2	タハ	撓		上上	上上	上平濁	「タハハチカヒタノ反」	s○	2	名
4	47	ウ	2	チカヒタ	?	46	平平平平濁	平?平平平濁?	平平平平濁	「タハ」の語源 佐藤全部薄い	○	4	?
4	48	ウ	5	タヘ	給ベ	47	平上濁	平上濁	平上濁	「人ノ持タル物ヲ所望スル詞」	◎	2	動

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井 番号	桜井(2000)声 点	佐藤確認	北野本声点	備考	評 価	拍 数	品詞
4	50	オ	1	タル	垂る?		—	平濁上	平濁上	「ヨタルカイナタル」北野の平濁は位置高い	k○	2	動
4	50	オ	8	タワ	撓		—	上?	上上	「髪ニツクタワ」佐藤?は見えず	k?	2	名
4	50	オ	8	タハ	撓		—	上上	上上	桜井47丁と同語ゆえ不採・脱か	k○	2	名
4	50	ウ	6	タカ	担荷	48	平平濁	平平濁	平平濁	「下臈ノ物ニナフタカ」	◎	2	名
4	51	ウ	10	タツ	(湿布)	49	上平濁	上平濁	上平濁	「カユキカサヲアツ湯ニテタツ」	◎	2	動
4	52	オ	3	タツ	鶴	50	平上濁	平上濁?	○○	佐藤上濁?はっきり見えるのは1点	s△	2	名
4	53	オ	3	タム	淡	51	平濁上	平濁上	平濁上	「ウスヤウ色紙ナトラタム」	◎	2	名
4	54	オ	10	タク	抱く	52	上濁平	上濁平	上濁○	「墨点」北野、桜井 佐藤平認める	s○	2	動
4	55	オ	8	タケ	岳	53	平濁上	平濁上	平濁上		◎	2	名
4	57	オ	5	タテ	蓼		—	上上濁?	上上濁	佐藤上濁?ありそう	k△	2	名
4	57	オ	11	タテ	?	54	平濁平	平濁平?	平濁○	「タテ曠涼」桜井「タの点墨の上に朱を重ねる」佐藤平?薄く小	s△	2	?
4	57	ウ	9	ソテタキ	丈・長	55	○○上濁上	○○○○○	○○○○○	桜井、次との位置の誤りか	k○	4	名
4	57	ウ	9	タキ	丈・長		—	上濁上	上濁上	「衣裳ニソテタキトイヘルタキ」	k○	2	名
4	58	オ	11	タメ	駄目	56	平濁平	平濁平	平濁平		◎	2	名
4	65	ウ	2	ソハ	其ぞ	57	上平	上?	上平濁	「虫喰のため一点のみ他の一点不明」桜井 佐藤?見えない	?	2	連語
4	65	ウ	2	ソハ	其ぞ	57	上平濁	上平濁	上平濁	「ソカトフ時ソハコタフルソハ」	◎	2	連語
4	70	ウ	4	ソヒフス	添臥す?	58	平上濁○○	平上濁○○	平上濁○○	「ソヒフストイヘルソヒ」	◎	4	動
4	70	ウ	4	ソヒ	添び?	58	平上濁	平上濁	平上濁	「ソヒフストイヘルソヒ」	◎	2	動
4	70	ウ	6	ソヒフクリ	陰頰	59	平平濁○○○	平平濁○○○	平平濁○○○	桜井「ソヒフクリ 平平濁」とある	◎	5	名
4	71	ウ	2	ツハ	鰐	60	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
4	71	ウ	3	ツミハ	鰐	61	平上平	平上平濁	上上平濁	「ツハ」の語源	?	3	名
4	72	オ	7	アナツホヤ	?	62	○○平上濁○	○○平上濁○	○○平上濁○	「無慙ナル物ヲミテ」	◎	4	?
4	72	ウ	9	ツト	?	63	上○	上○	上○	「朝夕祇候スルモノヲツト候トイヘル」	◎	2	副?
4	73	ウ	2	ツリ	釣り	64	上濁平	上濁平	上濁平	「勝劣ヲタツルニカタツリトナツクルツ」	◎	2	名
4	74	ウ	1	テル\	?	65	上上○○	○○○○○	○○○○○	「テル\ノツト」	k○	4	擬態
4	74	ウ	1	ツ	出	65	○	上濁	上濁	「テル\ノツト」桜井声点なし	k○	1	動
4	76	オ	5	手ツハ	手づつ	66	○上濁上	○上濁上	○上濁上	日国「不器用なこと」	◎	3	名
4	76	オ	5	ツハ	づつ	66	上濁上	上濁上	上濁上	接尾「手ツハトイヘルツハ」	◎	2	接尾?
4	78	オ	2	ツラ	?	67	上濁上	上濁上	上濁上	「目ニミエヌ物ヲツラトイヘル詞」	◎	2	名
4	78	ウ	11	ツム	擬態	68	上濁上	上濁上	上濁○	「ツムトコエトイヘルツム」	s○	2	擬態

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井 番号	桜井(2000)声 点	佐藤確認	北野本声点	備考	評価	拍 数	品詞
4	79	オ	9	ツク	継ぐ	69	上平濁	上平濁	上平濁		◎	2	動
4	79	ウ	3	ツク	尽く?	70	平濁平	平濁平	平濁平	「手ツクノアルトイヘルツク」	◎	2	接尾
4	79	ウ	10	ナニツク	づく	71	〇〇上濁上	〇〇上濁上	〇〇上濁上	接尾?「勝負ニナニツク」「~をかけた賭け事をする」日国	◎	2	接尾
4	79	ウ	10	ツク	づく	71	上濁上	上濁上	上濁上	接尾?「ナニツクトイヘルツク」	◎	2	接尾
4	81	オ	1	ツケ	黄楊	72	平平濁	平平濁	平平濁		◎	2	名
4	84	オ	7	ツシ	辻	73	上上濁	上上濁	上上濁		◎	2	名
4	84	ウ	9	ツヒ	甲螺子	74	平上濁	平上濁	上上濁	田の貝の名	s○	2	名
4	84	ウ	9	ツヒ	甲螺子	—	—	平上濁	上上濁	田の貝の名	?	2	名
4	86	ウ	7	ネツル	拗づ	75	〇〇〇	〇〇〇	平上濁○	北野記入ミスか →ネツ	s○	3	動
4	86	ウ	7	ネツ	拗づ	75	平上濁	平上濁	〇〇	北野記入ミスか ←ネツル	s○	2	動
4	90	オ	11	ナハ	茸	76	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
4	91	オ	1	ナヘ	鍋	77	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
4	104	オ	3	モツヘカ	?	78	平平濁上濁平	平平濁上濁平	平平濁平濁○	「ムハ」の語源 北野「声点墨点」	s○	4	?
4	104	オ	5	ムヘ	宜	79	上上濁	上上濁	上上濁		◎	2	副
4	109	オ	6	ムス	擬態	80	平上濁	平?上濁	平上濁	「物ヲムストオリヒシク」佐藤平?見えづらい	○	2	擬態
5	2	ウ	6	ウハ	乳母	81	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
5	3	オ	5	ウヘ	郁子	82	平平濁	平平濁	平平濁		◎	2	名
5	3	オ	6	ムヘ	郁子	83	平上濁	平平濁	平平濁		k○	2	名
5	12	オ	6	ウス	渦	84	平平濁	平?平?	平平濁	佐藤薄くて見えづらい	○	2	名
5	15	ウ	6	シワサノ	為業の	—	—	中平?上上	中中中中	声点でなく衍字を消した点か 佐藤平?タテに双点	k△	4	?
5	17	オ	1	ノキ	芒	—	—	上上濁	上上濁	「稲ノ穂ニアルノキ」	k○	2	名
5	17	オ	4	ノキ	?	85	平上濁	平上濁?	平上濁	「スエツヨナルヲハノキアリ」	○	2	名
5	25	ウ	1	クハ	擬音	86	平上濁	平上濁	平上濁	「クハツツキ」	◎	2	擬音
5	25	ウ	1	クハ\ノ	擬音	86	平濁平〇〇	平濁平〇〇	平濁平〇〇	「クハ\ノトサシ」	◎	4	擬音
5	25	ウ	2	キスフカ	傷深	87	上上濁平上	上上濁平上	上上濁平上	「クハ」の語源「キスフカノ反」桜井は「傷」と「深」で取る	◎	4	名?
5	27	オ	6	カラ	?	88	平濁平	平濁平	平濁平	「カラヲケル」	◎	2	名?
5	27	オ	9	クワ	瓜	—	—	上上	上上	「クワノ文トテカケル」	k○	2	名
5	28	ウ	1	クツ	屑	89	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
5	28	ウ	5	クツ	擬音	90	上濁平	上濁上	上濁上	「クツノム」桜井「クツ」副詞	k○	2	擬音

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井 番号	桜井(2000)声 点	佐藤確認	北野本声点	備考	評 価	拍 数	品詞
5	29	オ	6	クラ	競	91	上濁平	上濁平	上濁平	「ハシリクラ」	◎	2	接尾?
5	29	オ	6	クラ	競		上濁平	上濁平?	上濁平	「ミチコクラ」 佐藤上濁?薄い	○	2	接尾?
5	29	ウ	1	クム	朽む?	92	平上	平上	平上	「ヨセテクム」 桜井「組む」	◎	2	動
5	29	ウ	4	カス	数	93	平上濁	虫虫	平上濁	「クム」の語源 「カスマスノ反」	○	2	名
5	29	ウ	4	マス	交ず	93	平上濁	平上濁	平上濁	「クム」の語源 「カスマスノ反」	◎	2	動
5	29	ウ	6	クム	ぐむ	94	上濁平	上濁平	上濁平	接尾 「草木ノ葉ノメクム」	◎	2	接尾
5	29	ウ	8	ナミタクム	ぐむ	95	〇〇〇上濁平	〇〇〇上濁平	〇〇〇上濁平	接尾	◎	2	接尾
5	31	オ	3	クフ	焼ぶ		—	上〇	上〇	「火ヲタクニ木ヲサシクフトイヘル」	k○	2	動
5	31	オ	5	クフ	?	96	平上濁	平上濁	平上濁	「水ニクフトイヘル」	◎	2	動
5	31	ウ	1	クコ	枸杞	97	上上濁	上上	上上		k○	2	名
5	32	オ	4	カクシナ	嗅ぐしな	98	上上濁〇〇	上上濁〇〇	上上濁〇〇	「クサ(臭)」の語源	◎	4	?
5	32	オ	4	カクサマ	嗅ぐ様	98	上上濁〇〇	上上濁〇〇	上上濁〇〇	「クサ(臭)」の語源	◎	4	?
5	34	オ	5	ミコ	彌猴		—	上上濁	上上濁	菓子(果物)の「クミ」の語源	k○	2	名
5	34	ウ	4	カムサシ	髪	99	平上〇〇	平?上〇〇	〇〇〇〇	「クシ(髪)」の語源 佐藤平?かなり下	s△	4	名
5	42	オ	8	マハ	真羽	100	上平濁	上平濁	上平濁	「矢ノ羽ニマハ」	◎	2	名
5	42	ウ	4	マホ	真帆	101	上平濁	上平濁	上平濁	「船ニマホ」	◎	2	名
5	43	オ	11	マト	?	102	上平濁	上平濁	上平濁	「ヒトマト」 一語で取るべきか	◎	2	副?
5	45	オ	11	マタ	未だ	103	上平濁	上平濁	上平濁		◎	2	副
5	46	オ	2	マツ	先づ	104	上平濁	上平濁	〇〇		s○	2	副
5	59	オ	6	ケウ	下符	105	平濁平	平濁平	平濁平	「諸国ノ在庁カツノリ」「下符トカケリ」	◎	2	名
5	60	オ	6	ケハ	下下	106	平濁平濁	平濁平濁	平濁平濁	「下臈ノハキ物」	◎	2	名
5	63	オ	6	フニ	分	107	平濁平	平濁平	平濁平	「人別ニアタルフニ」	◎	2	名
5	64	オ	3	スハ	小笋	108	平上濁	平上濁	平上濁	「小笋ヲ音ニヨミテ反セハ」	◎	2	名
5	64	ウ	4	フリ\	擬音		—	上濁平〇〇	上濁平〇〇	「物ヲフルヲ」	k○	4	擬音
5	67	オ	2	フム	刎	109	上濁上	上濁上	上濁上	「物ヲハヌル」	◎	2	名
5	67	オ	5	ホウ	豊		—	平上	平上	「豊後国ノフム」唐音 桜井不採か	k○	2	字音
5	67	オ	5	フ	豊		—	平濁	平濁	「豊後国ノフム」和音 桜井不採か	k○	1	字音
5	67	ウ	8	フク	更く	110	上平	上平	上平	「夜ノフクル」 桜井「茸く」	◎	2	動
5	69	オ	7	フキ	不儀	111	上平濁	上?平濁	〇〇	上?声点なら上	s△	2	名
5	74	オ	1	コトスト	事為?	112	〇〇上〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	北野「コトナト」 佐藤「ス」か	k○	1	動
5	79	ウ	1	コツ	掘ず	113	平上濁	平上濁	平上濁	「キヲタツノ反」「キヲツムノ反」	◎	2	動
5	79	ウ	2	ツム	摘む?		—	平?上	平上	佐藤平?は大きすぎる	k△	2	動

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井 番号	桜井(2000)声 点	佐藤確認	北野本声点	備考	評価	拍 数	品詞
5	81	オ	1	コク	扱く	114	平上	平上	平上		◎	2	動
5	82	ウ	3	コフ	瘤	115	上平濁	平上濁?	〇〇	上濁?1点しか見えない	?	2	名
5	82	ウ	3	コフ	瘤		—	〇〇	平上濁	北野は前と記入ミスか	s〇	2	名
5	83	オ	7	コハ	御御	116	平濁上濁	平濁上濁	平濁上濁	「母ヲコトイヘル」	◎	2	名
5	84	オ	5	コサ	地名	117	上平濁	上平濁	上平濁	「和布ノ中ニ気味メテタキヲコサ」	◎	2	名
5	84	オ	7	コサ	莫蔭	118	平濁平濁	平濁平濁	平濁平濁		◎	2	名
5	84	オ	7	コサ	莫蔭	118	〇平濁	〇平濁	〇平濁	「コサトハ御座ライフ也」	◎	2	名
5	84	ウ	11	カムハヘ	噛む宜?		—	平上上上濁	平上上上濁	「コメ(米)」の語源	k〇	4	?
5	85	ウ	3	コシ	巾子	119	平上濁	平上濁	〇〇		s〇	2	名
5	86	オ	3	コシ\／	擬音	120	上平〇〇	上平〇〇	〇〇〇〇	「物ヲカムハオトノコシ\／」	s〇	4	擬音
5	86	ウ	3	コヒタリ	媚		—	上平〇〇	上平濁〇〇	佐藤は平は単点	k?	2	動
5	86	ウ	3	コヒ	媚		—	上上濁	上上濁		k〇	2	動
5	93	オ	8	テク	?		—	??	上平濁	「カシヲテク」佐藤声点見えず	s〇	2	動
6	1	ウ	9	アマ	天	121	平上	平上	〇〇	「火タクウヘニツレルタナ」日国あり	s〇	2	名
6	2	ウ	6	アフ	虻	122	平上濁	平上濁	平上濁	北野の上濁やや低い	◎	2	名
6	3	オ	4	アユ	和ゆ	123	上平	上平	上平		◎	2	動
6	5	オ	4	アサ	痣	124	上平濁	上平濁	〇〇	北野次と記入ミスか	s〇	2	名
6	5	オ	5	アサ	痣		〇〇	〇〇	上平濁	北野前と記入ミスか	s〇	2	名
6	5	ウ	9	アキ	顎	125	上平濁	上平濁	上平濁		◎	2	名
6	9	オ	5	アセ	畦	126	平平濁	平平濁	上平濁		s〇	2	名
6	11	オ	7	サハ	散飯	127	平上濁	平?上濁	平上濁	「食事ノ上分ヲトリテヲク」	〇	2	名
6	16	オ	7	サカ	性?	128	平上濁	平上濁	〇〇	「サカニタツトイヘル詞」	s〇	2	名
6	17	オ	1	サタ	時機	129	上平濁	上平濁	上平濁	「人ノサタスキタリ」「シナツヤノ反」	◎	2	名
6	17	オ	3	サタ	定	130	〇上濁	〇上濁?	〇〇	佐藤上濁?点あるが声点か	s△	2	名
6	17	オ	5	ユヒ	?	131	上上濁	上平濁	上平濁	桜井「ユ」に「コか?」「媚び」か	k〇	2	?
6	21	オ	2	サム	醒む		—	〇〇	平濁上	佐藤声点見えず	s〇	2	動
6	21	オ	6	サム	ざむ	132	平濁上	平濁上	平濁上	助動詞「ミサムナリ」	◎	1	助動
6	21	オ	6	サム	ざむ	132	平濁上	平濁上	〇〇	助動詞「キカサムナリ」	s〇	4	助動
6	21	オ	7	サ	ざ	132	上濁	上濁	〇	「キカサムナリノスア反リテサトナ」	s〇	1	?
6	22	オ	9	サク	さく(畦)	133	上平	上平	上平	「農夫力田ノアセヲサクトイヘル」	◎	2	名
6	22	ウ	1	サク	提ぐ	134	上平濁	上平濁	上平濁		◎	2	動
6	31	オ	7	キイ	擬音	135	平濁上	平濁上	平濁上	「アクルヲトノキイトナル」	◎	2	擬音

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井 番号	桜井(2000)声 点	佐藤確認	北野本声点	備考	評 価	拍 数	品詞
6	31	ウ	8	キハ	?	136	平上濁	平上濁	平上濁	「サハヤカナル物ヲキハトアルトイヘ	◎	2	?
6	35	オ	9	キタ\／	擬音	137	上濁平○○	上濁平○○	上濁平○○	「舌ニテ物ヲネフルヲト」	◎	4	擬音
6	36	ウ	4	キム	決む?	138	上平	上平	上平	「サシツメタル事」	◎	2	動
6	36	ウ	6	キム	?	139	平濁上	平濁上	平濁上	「アナタコナタタテワケタルヲ」	◎	2	?
6	37	ウ	3	キフシ	厳し	140	上上濁○	上上濁○	上上濁○		◎	3	形容
6	56	オ	9	ミテ	見て	141	上上	上上	上上	助詞テ	◎	1	連語
6	56	オ	10	ミテ	見で	142	上平濁	上?平濁	上平濁	助詞デ 佐藤上?は平にも見える	○	1	連語
6	56	ウ	8	マキクチ	巻口?	143	○○○去	○○○去?	○○○○	「去の点か?」桜井 確かに右上近くに朱点があるように見える	s△	4	?
6	57	オ	3	ミキ	見き	144	上平	上平	上平	助動詞「し」	◎	1	連語
6	57	ウ	8	ミシ	擬態?	145	平上濁	写真なし	平上濁	「ミシトウツミシトフム」	○	2	擬態
6	59	オ	4	シハ	柴	146	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
6	59	オ	5	ハハ	?	147	上濁平濁	上濁平濁	上濁平濁	「シハ」の語源「サキハハノ反」	◎	2	?
6	59	オ	6	シハ	芝	148	上上濁	上上濁	上上濁	施点は「シハハラ(上上濁○○)」	◎	2	名
6	59	ウ	3	シハ	数	149	上上濁	上上濁	上上濁		◎	2	副
6	59	ウ	9	シハカル	喰る	150	上上上濁○	上上上濁○	上上上濁○		◎	4	動
6	60	オ	9	シヘ	蕊	151	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
6	60	オ	10	シハヒレ	痺れ?	152	上上上濁平	上上上濁平?	上上上濁平	「シヘ」の語源 佐藤平?は薄い、上の位置にも何か見える	○	4	動?
6	61	ウ	6	シリ	感動詞	153	上濁平	上濁平	上濁平	「牛ヲシリサマヘユケ」	◎	2	感動
6	62	ウ	2	シカ	擬態	154	上平	平濁上	平濁上	「蜂ノ人ヲシカトサス」	k○	2	副
6	62	ウ	7	シカ\／	然然	155	上平○○	上平○○	○○○○	「シカ\ノトイフ」	s○	4	副
6	64	オ	5	シタ	羊齒	156	○○	上上濁	上上濁	桜井(山田)のミスか	k○	2	名
6	64	オ	5	シタ	羊齒	156	上上濁	○○	○○	桜井(山田)のミスか	k○	2	名
6	65	オ	9	シツカ	静	157	平上濁平	平上濁平	平上濁平		◎	3	名
6	65	オ	9	サヒタル	寂?	157	平上濁○○	平上濁○○	○○○○	「シツ」の語源	s○	4	動?
6	67	オ	1	シム	染む	158	上上	上上	上上	「キスニモカサニモノハシム」	◎	2	動
6	67	オ	2	シム	染む	159	上平	上平	上平	「ナサケアル人ヲオモヒシムル」	◎	2	動
6	69	ウ	1	シフ	渋	160	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
6	72	ウ	6	シハ	似指	161	平上濁	平上濁	平上濁	「小童カ被皮」	◎	2	名
6	72	ウ	6	サキソキ	先削ぎ	161	上上上平濁	上上上平濁	上上上平濁	「シハ」の語源	◎	4	名?
6	72	ウ	8	シハ	籜	162	上平	上平	上平	「ハリ物ニサス竹」 日国「しんし」	◎	2	名
6	73	オ	8	シヒ	鮪	163	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井 番号	桜井(2000)声 点	佐藤確認	北野本声点	備考	評 価	拍 数	品詞
6	74	ウ	10	夷人	夷人(いじん)		—	○平濁?	○平濁	「エソハ夷人」 佐藤平濁?虫損で切れているが双点か 桜井不採か	k△	?	名
6	78	オ	9	ヒトシ	酷し	164	上上濁○	上上濁○	上上濁○		◎	3	形容
6	81	オ	10	ヒツ	氷頭	165	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
6	83	オ	9	ヒク\／	擬態	166	上濁平	上濁平○○	上濁平○○	「枇杷鳥ノヒク\／トオチアカル」	◎	4	擬態
6	83	オ	10	ヒク	びく(動物部位)	167	平上	平濁○	平濁上	桜井「クヒの誤りか」とあるが日国「びく」あり 佐藤は上見えず	k?	2	名
6	90	ウ	2	モク	挽ぐ	168	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	動
6	92	ウ	1	セイ	勢		—	○○	平平	「モノハセイ」	s○	2	名
6	92	ウ	2	セイ	精		—	上平	上平	「人ノセイ」	k○	2	名
6	92	ウ	3	セイ	性	169	平上	平上	平上	「根性ノセイ」	◎	2	名
6	92	ウ	11	スヘヒマ	統隙?	170	○上○○	○上濁?○上?	○上濁○上	「セハ」の語源「への点色薄し」桜井 佐藤上濁?あるようだが、上?あるが声	k△	2	?
6	92	ウ	11	スヘタル	統べたる?		—	○○○○	上上濁○○	「スヘタルヒマハセハキ心也」	s○	2	動?
6	93	オ	2	セハ	切羽	171	平上濁	平上	平上	「タチノツハノウヘニノセタルカネ」	k○	2	名
6	93	ウ	2	セト	背戸	172	平平濁	平平濁	○○		s○	2	名
6	94	オ	8	セカ\／	擬態	173	上平濁○○	上平濁○○	○○○○	「物ヲツネニセムルテイナルヲ」	s○	4	擬態
6	95	ウ	4	セキカ\	急ぐ	174	上平濁○○○	上平濁○○○	上平濁○○○	「人ニセキカハルセク」	◎	2	動
6	95	ウ	4	セク	急ぐ	174	上平濁	上平濁	上平濁	「人ニセキカハルセク」	◎	2	動
6	96	オ	4	ミセテ	見せて	175	平上平	平上平濁?	平上○	「せて」 佐藤平濁?は平の点と何か見える	s△	2	連語
6	96	オ	4	キカセテ	聞かせて	175	上上平上	上上平上	上上平○	「せて」	s○	3	連語
6	96	オ	6	ミセテ	見せて	176	平上平濁	平上平濁	平上平濁	「せで」	◎	2	連語
6	96	オ	6	キカセテ	聞かせて	176	上上上平濁	上上上平濁	上上上平濁	「せで」	◎	3	連語
6	96	ウ	10	セシ	為し	177	上上	上上	○○	「スキタルコトヲセシ」	s○	1	連語
7	6	ウ	3	アシカ	葦鹿	178	上上平	上?上?平		「シの点虫喰のため痕跡のみ」桜井 佐藤上?は上の位置に虫損	s△	3	名
7	7	オ	8	イカム	畦む	179	平上濁上	上?平?○		「犬ノイカム」 佐藤上?もやもや、平?あるようだが離れている	?	3	動
7	26	オ	7	ハラヘ	腹へ?	180	平上上濁	平?上上濁		「ハラヘナリトイフハラヘ」 佐藤平?よく見えない	s△	3	名?
7	48	ウ	4	チャラ	擬態	181	平濁平平	平濁平平		「チャラキタナトワキカク詞」 桜井2拍扱い	s○	3	擬態

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井番号	桜井(2000)声点	佐藤確認	北野本声点	備考	評価	拍数	品詞
7	96	オ	9	タフル	狂る	182	上上濁○	上上?○		佐藤上?は上の位置が丸く虫損か 桜井分析「タフル」	s△	3	動
7	101	オ	3	スヘナラハス	据並ばず?	183	上上上上上濁平濁	???上上濁平		「ソナヘ」の語源 佐藤?は上位置に虫損	s?	6	?
7	111	ウ	2	ツクラ	土座?	184	上上濁平	上上濁平		「シキテシリカクルツクラ」	s○	3	名
7	112	ウ	2	タラス	ず	185	上濁	中濁?		助動詞「ず」 見せ消ちの双点か	s?	2	動
7	122	オ	1	カ	?	186	上	?		「墨点なり」桜井 佐藤?は虫損	s?	1	?
7	122	オ	1	ナタケ	長茸	186	平○○	平○○			s○	3	名
7	122	オ	1	ナタケ	長茸	186	平平濁上	平平濁上			s○	3	名
8	6	ウ	10	ウツキ	揚櫃	187	上平平濁	上?平平濁	上平平濁	佐藤上?は上の位置虫損	○	3	名
8	58	オ	8	コフル	媚ぶる	189	上上濁平	上??	上上濁平	「人ヲコフル」 佐藤?は見えない	○	3	動
8	58	オ	9	コフル	媚ぶる?	188	上上濁平	上??	上上濁平	「メムマヲコフル」 佐藤?は見えない 桜井漢字「鸞」の「鳥→馬」	○	3	動
8	59	オ	8	コユ\ノ	?		—	○○○平濁?	○○上○	「凍ふ」の語源 北野圈点、佐藤消しの双点か	?	4	?
8	65	ウ	7	アハツ	?	190	上上平濁	上上平濁	○○○	「オクフカナルヘキ人ノ人ニミエ沙汰セラルヘ」 桜井・前稿「澆」	s○	3	動
8	66	オ	2	アハク	?		—	虫平濁上	平平濁上	「物エオフセクヨシノアハク」 前稿	k△	3	動
8	66	オ	4	アハヒ貝	鮑	191	○上濁上	虫上上濁○○	○上上濁○○	「虫喰のため不明瞭なり」桜井 佐藤虫はありそう	k△	3	名
8	66	オ	4	アハヒ	鮑	191	上平平濁	上?平?平濁?	上平平濁	佐藤上?は上の位置虫損、平?はあるか、平濁?は平声点1つは見える	○	3	名
8	78	ウ	1	ケ	け(明)		—	平	平	「朝明」アサアケ→アサケ	k○	1	名?
8	78	ウ	5	アサフ	又ふ	192	上上濁平	上上濁平	上上濁平	「手ヲアサフ」	◎	3	動
8	83	オ	9	サハク	捌く	193	平上濁上	平上濁上	平上濁上	「ミタレタル系ナトヲサハク」	◎	3	動
8	99	オ	4	キフシ	厳し	194	上上濁上	上上濁上	上上濁上		◎	3	形容
8	101	ウ	6	ユルク	揺ぐ	195	上上平濁	上上平濁	上上平濁		◎	3	動
8	102	オ	5	ユカシ	ゆかし		—	上/平平上?	上/平平上	ユ上・平2点 佐藤上?は上の位置にシミか	k△	3	形容
8	102	オ	6	ユカム	歪む	196	上上濁平	上/平上濁平?	上上濁平	ユ上・平2点 平?は点2つか	○2	3	動
8	116	オ	4	ホテ	?	197	上上濁	上上濁	上上濁	「シルヘ」の「ヘ」の語源	◎	2	名
8	116	オ	6	ホテ	?		上上濁	上上濁	上上濁	「シルヘ」の「ヘ」の語源	◎	2	名
8	117	ウ	9	シタラ	始末	198	平上濁平	平上濁平	平上濁平	「シナツイタルヲシタラノヨキ」	◎	3	名
8	118	ウ	4	シツク	為付く	199	上上平	上上平	上上平	「ナニトシツクソ」	◎	3	動

巻	丁	表裏	行	施点対象	語句認定	桜井 番号	桜井(2000)声 点	佐藤確認	北野本声点	備考	評 価	拍 数	品詞
8	118	ウ	10	シシナマ(ノ ハ)ラカ	?	200	〇〇〇〇(平平 濁)〇〇	〇〇〇〇(平平 濁)〇〇	〇〇〇〇(平平 濁)〇〇	「シナラ」の語源 「ナマ」の右に「ノ ハ」	◎	2	?
8	123	ウ	7	シキル	仕切る?	201	平平濁上	平平濁上	平平濁上		◎	3	動
8	124	ウ	5	シム\／ メリ	?	202	平上〇〇〇〇	平上〇〇〇〇	平上〇〇〇〇	「シヘム(縮む)」の語源	◎	4	擬態
8	125	オ	2	シヒル	痺る	203	平上濁平	平上濁平	平上濁平		◎	3	動
8	125	オ	3	イテ	出	204	〇平濁	〇平濁	〇〇	「イテクレハ」	s〇	2	動
8	125	オ	3	ハ	ば	204	平濁	平濁	〇	助詞「ば」「イテクレハ」	s〇	1	助
8	129	オ	2	ヒトシ	酷し	205	上上濁上	上上濁上	上上濁上		◎	3	形容
8	129	オ	5	ヒキラスメ ル	低?	206	平平上平〇〇	平平??〇〇	平平上平〇〇	「ヒルム」の語源 桜井4拍と2拍と に分ける 佐藤?よく見えず	〇	6	?
8	130	ウ	9	フチツカレ ル	?	207	平上上上平平	平上上上平平	〇〇〇〇〇〇	「ヒタル」の語源 北野声点なし 桜井 「溺浸」	s〇	6	動?
8	134	オ	6	ヒヤツ	?	208	平上上濁	平上上濁	平上上濁	「ウスクホソヤカナル」	◎	3	?
8	149	ウ	3	スサラ	不同	209	平濁平濁平	平濁平濁上/ 平	平濁平濁上	「不同ナルラスサラ」 佐藤「ラ」に上・ 平2点見える	〇2	3	名
8	151	オ	10	スヘク	煤く?		—	平濁?平上	平平上	「色ノスヘク」 佐藤平濁?双点に見え るが1点か	k△	3	動
9	1	ウ	10	イハヤル	嘶やる?	210	上上濁上平	?上濁上?平	上上濁上平	佐藤?は見えず、上?は上の位置虫	〇	4	動
9	4	オ	6	イサホフ	?		—	平平上?平	平平上濁平	佐藤上?は上単点中に双点?	k△	4	動
9	40	ウ	4	ウシサシ	右事左事	211	平上濁平上濁	平上濁平上濁	平上濁平上濁	「ウシサシ物モイハス」 桜井「右シ左 シ」2語に分け副詞	◎	4	副
9	42	ウ	7	オヘライ	?	212	平上濁上上	平上濁上上	〇〇〇〇		s〇	4	名
9	46	ウ	5	ナハ	茸	213	平上濁	平上濁	平上濁		◎	2	名
9	55	オ	9	アイタル	幼稚	214	上上上濁平	上上上濁平	上上上濁平	「幼稚ノ義也」	◎	4	?
9	76	オ	2	モケ\／	擬態	215	平上濁/平濁 〇〇	平上濁/?〇 〇	平上濁/平濁 〇〇	「ケの仮名双点二つあり」桜井 佐 藤?は見えず	〇	4	擬態
10	23	オ	2	オソム	?	216	平上濁平	平上濁平	平上濁平	「オソムタツ」を分けたが「おぞんだ つ」で採るべきか 桜井「恐」	◎	3	動
10	23	オ	2	タツ	立つ	216	平上濁	平上	平濁上	「オソムタツ」 佐藤上単点	?	2	動